

## アンケート集計結果-2

フロンティアの設備・環境について

○利用者のコミュニケーション希望度の意思表示

- 利用者からコミュニケーションを取りたいが、誰に話しかけていいかわからない。
- 出来れば、静かに過ごしたい利用者もいる。
- 日によって気分が違う。

以上のことから、どうコミュニケーションを取ればいいかわからないことから、思いつきました。

「どンドン話に来てほしい」は赤□□

「気にしては欲しい」は黄□□

「ひとりでゆっくりと過ごしたい」は青□□

三つの色をバンクルなどで身につけ、意思表示を色で分かりやすくし、相手に伝えればコミュニケーションの材料になります。

意思表示のバンクルを玄関先に置いておき、今の自分のコンディションで変化をつけることが可能です。

\*注意点

「どンドン話に来てほしい」は赤、「気にしては欲しい」は黄を巻いても話しかけられなかった時、心理的に重く感じる人がいます。

そもそも、三つの色のバンクルはコミュニケーションのツールであって、「ひとりでゆっくりと過ごしたい」は青をまいていたとしても、お願いや・注意・示唆などは含まれないため、話しかけられることもあることが必要です。

メリットだけではないため、検討をしてみて、いきなり導入ではなく試しの期間を置き、利用者から再度意見を求めることが必要かと思いました。

○訓練・作業等について

訓練・作業内容を文章で行う。

各パソコン内にネットワーク（FRONTIE-training）があるため、現在できる訓練・作業内容を word・excel で各自が見やすくしては分かりやすく、手を上げやすいのではないかと思います。

口頭やホワイトボードも良いですが、各自で見やすくすることによって、訓練・作業内容がどこまであるかわからないため、ゆっくりと時間をかけてどれがいいか検討できない面もあると思いました。

訓練以外にも、掃除の内容もどこまでやっていいか、記入することで、掃除の分担のような作業も行えます。利用者に訓練・作業内容を word・excel での入力を行うことで、事務訓練などの場にもなります。

\*注意点

時たまオーバーワークのように、仕事をいっぱい選ぶ利用者があるため、訓練内容がどこまで個人で持つことができるか見定めないといけない。

パソコンがあるから見やすくなるため、コミュニケーションの減少に繋がり、職員に了解を得ずに作業を行う可能性があるかと推察します。